

関東地区 4支部連合会報

— 東京・埼玉・千葉・神奈川 —

第90号 2025年6月1日発行

発行
愛知大学同窓会関東地区4支部連絡協議会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館37階
愛知大学東京霞が関オフィス内
TEL(03)3501-6405 FAX(03)3501-6406

令和7年度「支部総会・懇親会」開催のご案内とご出席のお願い

関東地区4支部では、本年度支部総会を左記の通り開催いたします。会員相互の親睦交流を深めるとともに、同窓会本部や母校の現況など知る機会ともなります。

なお、準備の都合上、出欠のご返事を同封ハガキで、6月20日までにお知らせ下さいますようお願いいたします。

千葉支部(ちば古哲会)

千葉支部総会・懇親会を左記のとおり開催いたします。

今年も、昨年度大好評を得た同窓生がメンバーのハワイアンバンドの演奏を催します。

千葉支部会員の皆様で初めての方も女性の方も楽しめる懇親会です。

どうぞご遠慮なさらず懇親会だけでも構いません気軽においでください。

記

日時 令和7年6月29日(日)

・支部総会 11時～12時

・懇親会・演奏会 12時～14時

会場 麗澤大学構内「キャンパスプラザ会員会館」

JR常磐線南柏駅東口の東武バス停①番乗り場から乗車し麗澤大学前で降車徒歩5分

電話 04-7173-3558

会費 5千円(女性及び初めて参加の方2千円)

連絡先

090-2530-9918

(齊本正嘉)

090-2462-3675

(竹田貴文)

(支部長 齊本正嘉)

神奈川支部

会場となる坂の上の大倉山記念館へは、大倉山駅前よりタクシーにてお送りいたします。

今回の講演会の講師は、広瀬愛知大学学長です。学長は「保険は我々の生活を支えてくれる大事なものです。一方でお金にまつわる制度です。トラブルは隣りあわせです。とりわけ生命保険は、かけがえのない『いのち』を対象としています。トラブルは深刻化しがちです。トラブルを防ぐために、法はどうあるのか、どうあるべきかを解説します」と講演の概要を語ってくださいました。

学長は、懇親会にもご出席予定です。学長と親しく話の出来る絶好のチャンスです。万障をお繰り合わせの上、ご参加ください。

日時 令和7年7月5日(土)

13時受付開始

会場 大倉山記念館

Tel 045542-0050

東急東横線大倉山駅徒歩7分

【公開講演会】(13時半～15時)

講師 広瀬裕樹愛知大学学長

演題 「いのち」をお金にするというこゝろ生命保険と法

【支部総会】(15時～16時)

【懇親会】(16時半～18時半)

会場 ニューオークラ

Tel 045-544-1111

会費 6千円(初参加の方は無料。女性と卒業10年以内の方は半額)

連絡先

Tel 0467-58-3328

(伊藤登美夫)

Tel 0462-35-3128

(荒井隆史)

(支部長 伊藤登美夫)

埼玉支部

支部総会・懇親会を左記の通り開催いたします。会場は昨年と同じ「東天紅JACK大宮店」になります。

当支部では、武蔵探見、読書会、テーマ発表、会報発行等の活動を展開しております。

年に一度の総会に一人でも多くの会員が元気に参加されることを願っています。

日時 令和7年7月13日(日)

11時～14時

会場 「東天紅JACK大宮店」

さいたま市大宮区錦町

六八二

大宮情報センター十八階

JR大宮駅徒歩五分

東武アーバンパークライ

ン大宮駅徒歩四分

Tel 048-647-0080

会費 6千円

連絡先

Tel 090-9135-0146

(吉田一弘)

Tel 090-4361-7785

(中川善弘)

(支部長 吉田一弘)

東京支部

支部総会・懇親会及び落語会を左記の通り開催いたします。

同窓生との情報交換や久しぶりの出会いの場として年代を問わず多数の同窓生の参加をお願いいたします。特に若手の同窓生大歓迎です。

なお、今回の会場は愛知大学の首都圏活動の拠点となる千代田区霞が関にある「愛知大学東京霞が関オフィス」で実施いたします。

是非当日のお運びをお待ちしております。

日時 令和7年7月19日(土)

受付開始 10時より

【場所】 愛知大学東京霞が関オフィス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館37階・2頁案内図参照

【落語】 及び「支部総会」

【場所】 同右 開演10時30分

「コタンシとエンヤの2人会」

落語会の終了後、引き続き「支部総会」を実施

【懇親会】 開始時間 正午より14時

【場所】 エキスパート倶楽部

千代田区霞が関3-2-13 霞が関コモンゲートショップ&レストラン アネックス1階

(歯科隣り)

【電話】 03-3288-1921

【会費】 6千円(女性4千円)

連絡先電話

090-4452-0053

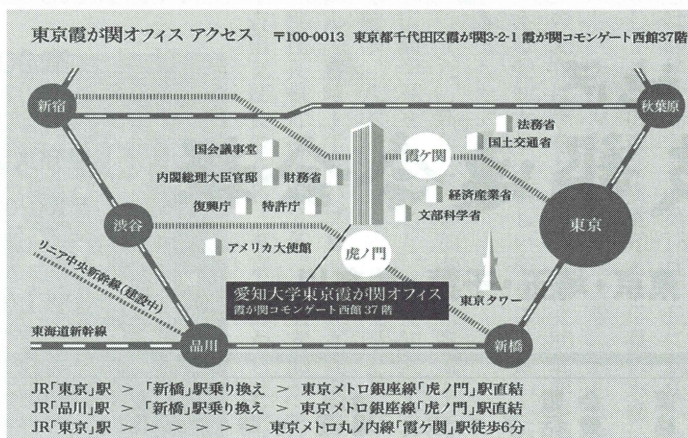
事務局 岩城龍夫

(東京支部長 杉野彰一)

お願い：出欠のご返事を6月20日(金)までに同封のハガキでお知らせ下さい

東京支部

愛知大学東京霞が関オフィス案内図



甲斐の国散策

(甲州 北巨摩の自然・美・酒) 企画案

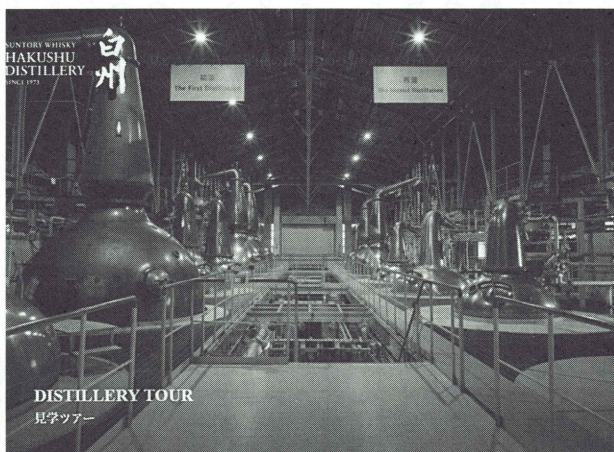
昨年、山梨支部は会員の減少などで支部活動が困難となったため、東京支部に合流しました。今年は山梨の良さを再発見し、山梨地区の同窓生との懇親を兼ねて、甲斐の国散策を企画しました。詳細の予定は後日、参加希望者に連絡いたします。

(日時) 10月25日(土) 10時～予定
(集合場所) JR 荏岐駅前改札出口
(募集定員) 15名

(会費) 5000円 (交通費半額助成)
散策予定コース

白洲のサントリ蒸留所(ウイスキー博物館) ↓ 台ヶ原の七賢(山梨銘醸) ↓ 大泉の平山郁夫シルクロード美術館などをめぐり歩きます。

(事務局)



江東区

「海の森公園散策」の下見会

3月29日(土)、杉野支部長、上ヶ平副支部長、淀野顧問、岩城の4人で、前日の28日にグランドオープンした東京湾の「海の森公園」に支部行事の散策会の下見で行ってきました。まず、概要として、東京湾のかつてのごみの埋め立て地

が新たな都立公園、「海の森公園」として整備されました。

この公園は、東京湾に1230万トンの家庭ごみなどを埋め立てて造成した土地に、都が18年前から整備を進めてきた江東区内の公園で、28日～30日に関連のオープンイベントが催されました。凡そ、60ヘクタールの敷地には、ボランテアがどんぐりから育てた24万本もの木が植えられています。

公園内には野鳥や昆虫が多く生息しているほか、スポーツやイベントが行える広場も整備され、高台からは都心や房総半島などの眺望が楽しめます。当日は記念のイベントで、「国際森林デー2025in TOKYO」に便乗参加し、ボランテアで海の森の木の手入れを行う予定でしたが、生憎の荒天、真冬並みの気候で、残念ながら行事は中止になりました。今後、この「海の森公園」を利用した東京支部の野外バーベキュー会などを企画し、同窓生の交流の場を作って行こうと考えていますので、乞う期待です。

(事務局)



2024年度支部会費・寄付金納入者名簿

(納入順、2025年3月31日現在)

■支部会費

松本和香子(63)、藤井明雄(29)、奥山みどり(55)、清水由美子(38)、牛山功(32)、鷺野薫(52)、小椋康宏(42)、村松大介(48)、酒井元紀(41)、岩城龍夫(52)、杉野彰一(47)、小川千尋(29)、淀野敏男(45)、各務由希也(41)、宮崎晋樹(63)、金沢修(46)、田中正博(59)、大久保知也(60)、春井勲(46)、山本哲一(46)、加藤鐵三(39)、瀧澤俊彦(54)、長崎昌子(57)、牛山功(32)、兼子欣也(35)、岩城龍夫(52)、酒井元紀(41)、宮崎晋樹(63)、上ヶ平實(47)、村松大介(48)、小川内雅晴(49)、藤井明雄(29)、浦川剛(45)、飯田一貴(56)、小椋康宏(42)、鷺野薫(52)、金沢修(46)、小川千尋(29)、高井和伸(42)、校條満(31)、菅原暖仁(R5)

■寄付金

長崎昌子(57)、矢崎克仁(56)、淀野敏男(45)、藤井明雄(29)、赤川開一(29)、金沢修(46)、春井勲(46)、加藤鐵三(39)、長崎昌子(57)、金沢修(46)、高井和伸(42)、長崎昌子(57)

延べ52名

以上

ご協力ありがとうございました。

支部会費、寄付金は同窓会活動の源泉で、皆様の支援で成り立っています。今後ともご理解ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

(支部長 杉野彰一)

会員だより 東京

新しい世界に挑戦!!

中央区 酒井 元紀

私は1985年（昭和60年）に法経学部法学科に入学、校舎は名古屋校舎（車道）でした。実家は岐阜市にあり、車道は通学に便利でした。学校、校舎は狭く小さくても、立地の良さから栄から今池がキャンパスだと思って学生生活を謳歌していました。授業の合間にはバイトや喫茶店、たまにボーリングに行ったりして、今思えば大学近辺で大抵のことが足りてしまふ、私にとってありがたい場所でした。また、部活はライフル射撃部に在籍、射場は校舎の地下にあったため、すべてこの車道で完結していました。3年生まで本当に楽しく過ごしていました。その便利な車道で3年間を過ごした後、最後の1年間は黒笹に通学することになりました。といっても移転が分かっていたので、3年生までに必要な単位は取得し、4年生は週1回のゼミ（石井ゼミ）だけでしたので、プチ旅行気分に通学していました。当時の黒笹は良く言えば、自然環境に恵まれ、最新設備を備えた新しいキャンパス、悪く言えば何もないとんでもない田舎のキャンパスだったなあと記憶しています。

当時はそんな環境には何の興味もなかった私が、卒業して30年以上も経った今、環境やエシカルといった問題に興味を持つようになりました。きっかけは消費生活アドバイザー資格取得のための学習でした。現在金融機関に勤務していますが、2017年に本社のお客様サービス推進部に異動、責任者として、「お客様の声」を経営に活かす態勢の整備とともに、お客様へ「感動的なお客様体験」

を提供するために、社員一人ひとりの知識やスキルを向上させる社員教育を検討、実施することになりました。その一つが消費生活アドバイザーの資格取得でした。資格取得を推進する上で、自分自身が取得していないことには話しにはならないので、学習に取り掛かり、運よく一発で合格することができました。

消費生活アドバイザーの試験の範囲は広く、1. 消費者問題、2. 消費者のための行政・法律知識、3. 消費者のための経済知識、4. 生活基礎知識と多岐にわたりますが、3. 消費者のための経済知識の中に、「地球環境問題・エネルギー需給」という学習項目があり、広く浅く学習していく中で、エシカル消費や食品ロス、脱プラスチックなど今まで初めて学ぶ内容にとっても興味を惹かれました。むしろこれまで知らなかった学習内容としても新鮮でした。合格後は会社の業務として社員教育の一環である消費生活アドバイザー資格取得を推進する一方、プライベートでは、学習を通じて知り合った方の自主研究会に入会、さまざまな活動に参加するようになりました。主に土日ですが、ビーチクリーン、地方自治体が開催する消費生活展への協力・出展、環境問題に造詣が深い方をお呼びする講演会の企画など、環境問題を自分事化できるきっかけづくりを行っています。これまでとはまったく違うことを始めたことに当初家族はびっくりしていましたが、今は理解してくれるようになりました。そして、昨年から同窓会の活動に参加させていただくありがたい機会をいただきました。私にできることは微力ですが、少しでも貢献できたらと考えています。引き続きのご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

（平成元年 法経学部法学科卒）

埼玉支部

第二十四回 武蔵探見

「草加松原（国指定名勝）」と

草加宿・文学碑散策」

実施日 令和七年四月六日（日）

参加者 東京支部三名、千葉支部二名、神奈川支部三名、埼玉支部四名、計十二名

春は3日に一度雨が降ると言う。天気を心配しながら朝、草加駅に集合。草加宿を案内する会のボランティアの方3名が早くに来て待っていて下さり恐縮した。ゆっくりと旧日光街道へ向かい最初の目的地である八幡神社へすぐに到着。高さ、幅、奥行きが何れも80センチ以上、重さが120キロもある雌雄一対のヒノキで造られたと思われる獅子頭が神殿に安置されていた。普段は扉が閉められ見ることができない獅子頭をボランティアの方の配慮により見学することができ幸運でした。

次に街道創設当時の蔵を残している藤代家の前を通り、石でできた街道の道しるべを過ぎ、本陣跡近くの草加小学校へと赴いた。

草加宿の日光街道の幅は、4間（7.2メートル）であった。1630年に草加宿を形成するために周りの村々から家がこの街道沿いに集めら

れたとのことで、江戸幕府・大名の力の大きさを知らされる。また、この宿場には50頭以上の馬が旅人の為に用意されていたという。

草加小学校は県内最初の鉄筋コンクリート造りの小学校であった。建造当時（大正15年）の写真からは、車でなく牛で建材を運んでいる様子が伺えます。現在は歴史・民族資料が収蔵、展示されている。

昔の大火で焼失を免れた古い面影を残す、おせん茶屋の前から、真言宗の東福寺に辿り着いた。

現在の建物は江戸末期のもので、山門に唐へ渡り阿闍梨の称号を得た空海の伝説を表した彫刻と本堂の欄間は興味深いものでした。

松尾芭蕉もこの道を歩いたのかと想いを馳せると、ふと2018年の秋に関東4支部の皆で深川芭蕉庵跡を訪れたことを思い出し、芭蕉はそこから船で千住大橋へ渡りその足でこの場所へ来たのだと私はなんとなく納得していた。

草加せんべい発祥の地碑近くに芭蕉を支えた河合曾良の像と伝右川の枝垂れ桜を横目に、札幌河岸公園に入ると芭蕉の等身大の像が我々を迎えてくれた。桜も満開の時期を少し過ぎたところであったが、まだまだ



美しく、また羨望の感を以て私は見ていた。同じ桜を見ても十人十色の感じ方が多分あるのであろうか。流れのない綾瀬川に沿って公園は整備されており、札幌河岸、甚左衛門堰（伝右川の手動の煉瓦造りの水門）の近くの正岡子規、高浜虚子の句碑を読んでから、日本の道百選の一つであ



る松並木を北へ向かった。並木道の西の道路側は埼玉県草加市、東の綾瀬川側は河岸となり国の管轄ということで、同じ松でも管理が異なり行政の壁はどうにもならないものかと考えながら歩いた。

最後に日本文学の世界的権威のドナルド・キーンの前でボランティアの方々と別れ、昼食会場へと雨に降られることなく無事到着。ボランティアの皆さんに深く感謝する次第です。

吉田一弘（支部長 56年文卒）

会員だより *埼玉*

『根津一先生・桜花忌』に

参加して

3月23日（日）、横浜鶴見の曹洞宗大本山總持寺にて行われた桜花忌に参加致しました。当日は、五月晴れに匹敵する雲一つない晴天下、汗ばみながら墓前にての参拝となりました。

根津一先生が東亜同文書院の初代、3代目院長であったということ以上に深い知識を持たない私でしたが、東亜同文書院大学記念センター長の藤田佳久名誉教授が、水野梅暁なる僧侶が、明治37年（1905年）に中国湖南省に僧学堂を創立してから、梅暁本人と根津一先生の墓地を總持寺の同敷地内に用意して亡くなるまでの概要を話してくださいました。かなり心の中の霧が晴れました。

その後の直会も楽しく有意義なものであったことは言うまでもありません。桜



花忌の再開・企画してくださいました知を愛する皆様に感謝いたします。

（埼玉支部長 吉田一弘）

『読書会へのお誘い』

埼玉支部では、毎月第3水曜日13時よりシーノ大宮生涯学習センターに於いて定期的に読書会を行っています。

この読書会は、東京・埼玉両支部の先輩会員の発案で有志が集まり、2002年8月に始まりました。その後、千葉支部の有志も参加して途切れることなく継続し、この4月で272回を迎えました。一人ではなかなか読むことができない本でも皆で少しずつ読み進めることで知識を広めることができるのではないかと思います。

皆が推薦する本の中からテキストを決めて、毎月順番で担当者が音読します。一つの文章も読んだ人によりそれぞれの解釈が夫々あることも時にはあります。

す。途中でわからないことや疑問点があれば、夫々の意見交換をすることで解釈を深めることもできます。

これまでのテキストは当支部会員の故吉川積氏の『延年益寿小話』から始まって、現在31冊目の『日ソ戦争』（麻田雅文著・中公新書）を読んでいます。

4月からは神奈川支部の有志も参加することになりました。

皆さんの参加をお待ちしております。この一年に読んだ本は以下になります。

『家康の誤算』（磯田道史・PHP新書）

『新・幕末史』（NHKスペシャル取材班著・幻冬舎新書）

『戦争の近現代史』（保坂正康著・幻冬舎新書）

『日ソ戦争』（麻田雅文著・中公新書）

2025年3月より読書中

問い合わせ先 吉田 敏（45年卒）

TEL 090-1059-6506

（事務局）

【埼玉支部】

2024年度支部会費納入者名

（2025年3月31日現在）

氏名（卒業年・学部）

朝居 建（37法経） 中山 弘（38法）

山口 昇（40経） 花井洋資（42経）

浜田重遠（43営） 中川善弘（44経）

吉田 敏（45文） 加藤孝司（46法）

小幡達夫（47法） 夏目益良（47経）

林 三郎（47経） 滝澤 充（50経）

真野仁志（53経） 荒木淳一（54文）

梅村伸一（54営） 吉田一弘（56文）

野村隆宏（56法） 亀ヶ谷澄子（H5法）

山内健治（H9法） 金津吉和（H20現中）

田代佳穂利（H31院経営（修士））

千葉支部(ちば古哲会)

第15回「県内歴史探訪」開催

李 相龍

令和7年3月30日、松戸市の国指定重要文化財「戸定邸」と国指定名勝「旧徳川昭武庭園」及び戸定歴史館を訪れました。

前日は真冬に逆戻りしたかのような寒さと冷たい雨が降りましたが、当日はうそのように晴れわたり、爽やかな青空が我々を迎えてくれました。

この戸定邸は、徳川昭武の私邸として140年前の明治17年に建てられた純和風のもので、庭園は西洋風で高麗芝を張り、和風の建物と西洋風の庭園との調和が素晴らしいものとなっています。

昭武は戸定邸から庭園越しに富士山や



江戸川の雄大な眺めを楽しんだとのこと。因みに洋風技法による高麗芝生面は国内で現存している最古のものとのこと。建物と庭園との景観が日本庭園史における学術的価値が高く評価され、国指定の名勝となっています。

徳川家の家紋の三葉葵は、内庭に植えられているフタバアオイをモチーフにしていると言われている。ガイドさんから説明を受けました。

私は、松戸市に明治以降の徳川家の住まいが現存していることは知ってはいなかった。このさほど関心はありませんでした。

ところが、戦後の混乱と材木不足で解体されて行方不明となっていた建物の一部の「使者の間」がなんと私の自宅のある印西市に移築されておりました。これが発見された後に今の戸定邸に再移築されたとのこと、身近での出来事に親しみを感じた次第です。

戸定邸に隣接する博物館は、昭武のバリエーション関係品や徳川家伝来の調度品などが順次公開展示されておりますので是非訪れてみて下さい。

場所は、松戸駅から徒歩で15分くらいの程よい距離に位置し、庭園の四季折々の樹木や草花を観察し、富士山を望みながらの散策が楽しめます。私も再度訪れたいと思っております。

探訪後の懇親会は、「庄や松戸店」にて開催し、気持ち良い散策の疲れをアルコールで癒し、かつ、皆さんと和気あいあいの親交を温めました。(47年卒)

忘年会を開催

24年12月9日(月)「北の味紀行と地酒の北海道津田沼店」にて忘年会を開催いたしました。12時半からのスタートで、お昼は飲み放題の料金が半額となり、とても財政的には嬉しい忘年会となりました。14名の皆さんが参加され、お酒を酌み交わしての1年間の出来事の放談会となりました。

2024年度千葉支部

「支部年会費・寄付金」納入者名簿

「支部年会費・寄付金」を納入下さった方は左掲のとおりです。ご理解とご協力に心より御礼申し上げます。支部の活動は会員の皆様のご支援により成り立っており、役員一同感謝申し上げます。

●支部年会費(31名) (卒年順・敬称略)

大沢勇夫(30)、江坂紀元(31)、前田治雄(31)
堀 昌彦(36)、中山 弘(38)、菅浪照倫(38)
尾嶋秀夫(40)、伊藤明良(42)、塩澤貞夫(43)
石尾 融(44)、村尾竹一(44)、金森定夫(44)
湯山義則(44)、小林昌和(44)、中神六郎(44)
長野道雄(45)、石原 豊(46)、春井 勲(46)
虫鹿敏克(46)、窪田雄一(47)、李 相龍(47)
竹田貴文(48)、西山康夫(48)、齊本正嘉(50)
飯塚理夫(51)、西脇利行(52)、水野滝男(55)
新堂弘幸(56)、西岡業穂子(58)、浦田聖司(62)
夏原浩昭(日H)

●寄付金(12名) (卒年順・敬称略)

江坂紀元(31)、堀 昌彦(36)、菅浪照倫(38)
伊藤明良(42)、金森定夫(44)、湯山義則(44)
春井 勲(46)、窪田雄一(47)、西山康夫(48)
齊本正嘉(50)、水野滝男(55)、西岡業穂子(58)

同窓会支部長・

部会長会議開催

25年4月19日(土) 13時より、車道校舎3階のコンベンションホールにて標記の会議が開催されました。

支部長46名、部会長25名が一堂に会し、25年度の事業計画、同窓会の財政状況、支部・部会の活動事例、愛大ビジネスクラブの状況と成果(申請先79先、登録先は51先、Facebookの立ち上げ)などの報告がありました。

齊本副会長からは、7月12日開催のエズラ・ヴォーゲル記念フォーラムにおいて、林芳正内閣官房長官から愛知大学に対して、メッセージをいただくように折衝中であること、読売新聞の「知の館」特集に愛知大学の図書館が7月に掲載される予定であることを報告しました。

大学からの報告では、学長から豊橋校舎の新棟完成進捗状況、創立80周年のコンセプトを「知のフィルハーモニー」(フィルには愛という意味もあり、地域社会、同窓生、保護者、教職員、在学生等を調和し一つのものに創り上げるというコンセプト)と決定したこと、また事務局から25年度入試の志願者数と合格者数などの結果報告がありました。

続いて、15時からブロック会議を開催し、ブロックごとの同窓会活動の課題などの意見交換がなされました。

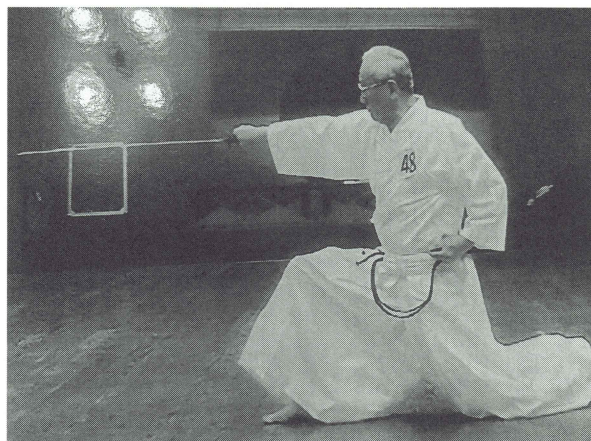
会員だより *千葉*

「居合道」を続けて17年、 全剣連の「六段審査」に 「挑戦」!!

08年4月1日「東京都剣道連盟」の「居合道台東支部（会員120名）」に入会。「火木土」の週三回稽古を続け、最後の11年後の19年3月に「五段」に合格。★最短は、初段1年、二段2年、三段4年、四段7年、五段11年、六段16年。中学高校には「居合道部」がなく、六段合格の「最低年齢は34歳」。

★「初段から五段」の「昇段審査」は、各県剣連が、9月と3月に年2回開催。

★「六段七段八段」の「昇段審査」は、全日本剣道連盟が、6月（各県の持ち回り）、11月（東京）、3月（京都）の



年3回、全国一か所で開催。

六段審査の受審資格①五段取得後「5年以上修練した者」②太刀は「真剣とする」に従い、24年6月28日福岡県久留米市体育館で、全剣連の「六段審査」に「初めて」挑戦、全国から80名が参集。

北九州は連日の集中豪雨で、ベタベタの床に足を取られ、「スリ足の抜き付け」に失敗！残念な結果に！

思いを新たに教師七段の伊藤四朗先生に師事し、「技量向上」と「体幹強化」に、「火木土」の稽古だけでなく、「月水金」に一人稽古を行い、「週6日の稽古漬け」により、「技を磨き」、「心身のタフさ」を身に着けました。

★都剣連は、審査前に「六段挑戦者37名」に対し「受審者講習会」を開催。

24年11月30日東京都江戸川区スポーツセンターで、全剣連の「六段審査」に「2回目」の挑戦、全国から久留米市体育館の2.5倍の212名が参集。

当日は2時間前に会場入りし、隣の剣道場で「準備稽古」に45分掛けて、「体調を万全」に仕上げました。

結果、「7分間の六段審査」は、ミスなく、稽古通りの実力を出し切り、自分ながら悔いのない出来栄でした。

3日後、全剣連HPに「合格者56名（うち都剣連5名）」の最高齢で、「夢の難関を突破！」、「天にも昇る心境に！」、「六段以上は「先生」と呼ばれ、正装は「黒紋付と袴」です！」、「今までは先生の技を見て学ぶ世界でした、これからは見られる側に！」、「益々の精進が必要です！」（41年法経学部卒 平田泰生）

神奈川支部

第4回神奈川名所名跡めぐり

横須賀「軍港めぐり」と

記念艦「みかさ」見学を

開催しました！

秋晴れの好天気恵まれた10月20日（日）に遠方 東京、千葉、埼玉支部のかたがたを合わせて26名もの多くの皆さんにご参加いただき盛大に開催致しました。

軍港都市・横須賀でクルーズ船に乗り、アメリカ海軍と日本の海上自衛隊の艦船を間近で見ることができました。米海軍のイージス艦や空母、潜水艦などのほか、海上自衛隊の潜水艦や護衛艦、砕氷艦（南極観測船・しらせ）など盛りだくさんの艦船が見られ、横須賀ならではの魅力でいっぱいでした。また、自衛隊最大の船である「いずも」も間近に見てその巨大さに圧倒されました。

バスで三笠公園へ移動し記念艦船「みかさ」に乗船、艦内を見学しました。日露戦争中、東郷平八郎司令長官が率いる連合艦隊の旗艦であり、明治38年5月27日の日本海海戦においてロシアのバルチック艦隊38隻を撃滅する功績を立てて日本の独立と安全を確保し、その後日本が繁栄する基礎を作った記念すべき戦艦として保存されています。広い艦内で、日露戦争の経緯や関連する「みかさ」の歴史、艦内の装備や

各部屋の様子などを学ぶことが出来ました。

有名な「海軍カレー」を食べることは出来なかったものの途中駅売店でゲットすることができ良いお土産とすることができました。

（神奈川をガイドする会

会長 柴垣敏秋）



記念艦「みかさ」にて

《次回予告》

第6回神奈川名所名跡めぐりは、

令和7年10月18日(土)

東海道五十三次「平塚宿」を

予定しております。

江戸日本橋から数えて7番目の宿場にあたる平塚宿の本陣、脇本陣、問屋場、高札場など江戸時代を通して200軒を超える町並みが続き、八王子道や大山への道との分岐点にもあたり交通の要として発展した平塚宿を散策します。

(会長 柴垣敏秋)

観梅会

令和7年2月23日(土)、好天のなか久しぶりの観梅会を開催致しました。前年は悪天候のため、その前3年間はコロナ禍により中止しておりましたので、5年振りの開催でした。

伊藤支部長のご調整で、初めに大倉精神文化研究所の平井理事長に大倉山記念館をご案内して頂きました。慣れ親しん



大倉山記念館前にて

だ大倉山記念館ではございますが、東京駅の設計で知られる辰野金吾の弟子、長野羽平治と荒木孝平の設計によるプレ・ヘレニク様式の歴史的建造物を堪能すると同時に、普通は入ることが許されていない上部まで見学させて頂き、遠くスカイツリーまで見渡せる眺望にちよつとした感動を覚えました。

梅林の梅もちょうど見ごろとなっており、ひと回り鑑賞したあと、「肉汁餃子のダンダダン」で懇親会を行い、楽しいひとときを過ごしました。

今年は入出が増えたせいか、タクシード坂の上まで行くことができず、お足の悪い皆さま方にご不便を強いてしまったことはこの場をお借りしてお詫びいたします。

(幹事 鳥越剛58年卒)

会員だより * 神奈川 *

桜花忌 根津先覚の墓参

東亜同文書院創設時の初代院長である根津一先覚の命日は、2月18日で、関西では、桜花忌として2月に墓参をしています。関東では、桜花忌として3・4月に開催しています。コロナのために5年間ほど中断していましたが、今年は3月23日に、横浜の総持寺の墓前に、10名が集いました。また、今回からは、校友センター(センター長は広瀬裕樹学長)が桜花忌の開催を後援してくれることになりました。東亜同文書院との関係をより密にすることは、愛知大学のブランドを高めるためにも大事なことであり、よい判断であると歓迎しています。

「精進院殿徹道一貫大居士」と彫られた顕彰碑のある根津先覚の墓所の隣は、東亜同文書院創設の時、初代根津院長

のもとにいた水野梅暁の墓所です。梅暁は、正式の院生でなく、守衛・小使いの職位で院長に仕え、後に仏教徒の地位をなし、恩人根津先覚の墓地を隣に設けられたものと思われまふ。

当日は、総持寺僧侶によるお経のあと各位の焼香参拝。各位参拝のあと藤田名誉教授の根津一先覚と水野梅暁の人柄・功績などのお話がありました。梅暁は、他人との協調性がなく、書院生からは「くそ坊主」と言われながらも曹洞宗の普及に貢献しています。その後の人生遍歴にも触れ、ユニークなお話でした。

根津先覚について、その教育指針についての詳しい内容は割愛しますが、近衛篤磨公亡き後(1904年死去)根津先覚は、東亜同文会、東亜同文書院の中心的存在となり、書院生からも尊敬され慕われていました。

終わりに、東亜同文書院の院歌を斉唱し、直会会場へ移動しました。

直会会場は、蓬萊春飯店。大きな円卓に10名が、生ビールで献杯。順次運ばれる料理に、歓談尽きることなく、

色々な会話・話題の中から、各位何を学び、何を考えてか、生きている人生いつも成長したいものです。墓参の意味もこんな学び合う機会を提供しているのではと思います。

(伊藤登美夫 44年卒)

「訃報」

岩間毅氏(33年卒・元支部長)、川合俊祐氏(36年卒)、荒井保子氏(39年卒)石井克彦氏(44年卒・元支部長)が逝去されました。

4名の方々の同窓会へのご尽力に感謝申し上げます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2024年度

支部会費・寄付金納入者名簿

(卒年順43名) 2025年3月31日現在

■支部会費

高階 昇(滬友会)、岩間 毅(33)、中島寛司(33)、栗山登之(34)、勅使河原平八(34)、横田浩司(34)、河合紀子(36)、飯田正明(38)、石川光芳(38)、梅村 修(38)、荒井克己(39)、金原俊通(41)、青山輝男(42)、中島久男(42)、森澤光子(43)、作田賢治(43)、鈴木 宏(43)、柴垣敏秋(43)、浅井俊之(43)、高間益雄(44)、伊藤登美夫(44)、新家康寿(44)、寺部妙子(45)、赤井清子(45)、本庄紀子(45)、谷口 優(47)、高橋五郎(47)、島岡憲二(49)、荒井隆史(50)、山本美恵子(50)、一之瀬和彦(52)、中島文孝(52)、清水孝典(53)、小林誠二(53)、鳥越 剛(58)、戸澤靖代(63)、角崎理恵(日2)、岩坂英明(日2)、松延秀夫(日2)、平田浩一(日3)、渡會健夫(日5)、相崎高弘(日14)、金森祥平(日26)

■寄付金

高階 昇(滬友会)、中島寛司(33)、岩間 毅(33)、横田浩司(34)、河合紀子(36)、飯田正明(38)、石川光芳(38)、金原俊通(41)、中島久男(42)、鈴木 宏(43)、浅井俊之(43)、柴垣敏秋(43)、伊藤登美夫(44)、高間益雄(44)、新家康寿(44)、谷口 優(47)、山本美恵子(50)、一之瀬和彦(52)、清水孝典(53)、鳥越 剛(58)、岩坂英明(日2)、角崎理恵(日2)、渡會健夫(日5)、相崎高弘(日14)

(会計 鳥越 剛)

支部会費などの納入を

有難うございます。

神奈川支部活動が出来るのは、皆様からの支部会費と寄付金納入のおかげと感謝申し上げます。活動の更なる活性化のために、一層のご協力をお願い申し上げます。

(支部長 伊藤登美夫)

関東地区4支部

特別講演・新年会を実施

令和7年2月1日、恒例の新年会に合わせ、特別講演を実施しました。講師には昨年愛知大学の第18代学長に就任いたしました広瀬裕樹愛知大学学長にお願いし、テーマとして「愛知大学『新しき朝の光』」をお願いし、創立80周年を迎える愛知大学の新しい姿をご披露いただきました。

また、新年会の参加者は来賓者として、広瀬学長をはじめとし、林愛知大学常勤監事、八木同窓会会長、校友課佐々木さん、盛崎JTBパブリッシング代表取締役社長執行役員他2名。埼玉支部からは吉田支部長他6名。東京支部からは杉野



支部長他12名。千葉支部からは齊本支部長他8名。神奈川支部からは伊藤支部長他5名の、計42名が参加。うち初参加2名や令和卒の若手同窓生2名が参加してくれました。新年会では歌手の「イザナギ(TARO)」さんの歌の披露、神奈川支部金原さんの手品披露があり、始終中和やかなうちに終了しました。

(東京支部事務局)

第64回日本寮歌祭の報告

11月24日、第64回日本寮歌祭が、北海道大学から南の鹿児島大学まで全国38大学・270名(愛知大学からは17名)が参加して、東京・日暮里のホテルで盛大に開催されました。

開会式の冒頭は、小川千尋日本寮歌祭実行副委員長(28年卒)による開会宣言でした。来賓席には加納寛愛知大学副学長の姿も見えます。来賓代表の挨拶は、高井和伸日本寮歌振興会会長(42年卒)が行いました。歌の始まる前から「愛知

大学ここにあり」です。

寮歌が始まり、私たちは、23番目に登場して小川千尋氏の「イー・アル・サン」の掛け声を合図に「月影砕くる」を高吟しました。続いて、加納副学長の先導で東亜同文書院寮歌「長江の水」をリズムよく歌いました。他校は一曲、まれに二曲の寮歌を歌いましたが、我々は前半の二曲の他に、後半の部でも台北帝国大学創業歌「椰子の葉茂る」(先導・伊藤登美夫)、京城帝国大学校歌「紺碧遙かに」(先導・高井和伸氏)・旅順高校寮歌「薫風通う」(先導・佐藤武史氏・平成8年卒)と全五曲を高唱し、大いにアピールをする事が出来ました。これは、「敗戦によって廃絶となった海外校の学徒や教職員が、愛知大学の創立に深くかわった」から「いわゆる外地にあった学校の寮歌の継承を愛知大学にお願いしたい」と言う日本寮歌祭幹事会の依頼を受けたものです。海外校の寮歌を引き継ぐ者は、東アジアの学校をルーツに持つ、私たち

愛知大学の他にありません。

今回は、満州国立建国大学の「歡喜の丘に」も発表に加えた意気込んでいます。

以上の成果を踏まえつつ、愛知大学同窓会員と学生諸君の「愛大生としての誇り」を向上させる取り組みも含めて、寮歌振興会の活動を更に充実していく所存です。活動へのご参加とご支援をよろしくお願い申し上げます。

(寮歌振興会 伊藤登美夫)

東京霞が関オフィスだより

25年2月21日、「首都圏で就活！首都圏で活躍！」を目指す東京スタディツアーを開催いたしました。

27(28)年卒予定の学生から希望者を募り、現1年次生9名、2年次生23名が参加しました。

齊本副会長からのエール挨拶と事務局からの東京オフィスの活用についての説明の後、アサヒビール(株)に勤務しているOBの野村さんから就職活動の経験、仕事の内容や働く喜びなどを講演していただきました。参加者からは就活意欲みなぎる活発な質問が飛び交い有意義な時間となりました。

その後、TOPPANを企業訪問しその企業戦略などを学ぶなどして、ツアーを終了いたしました。

(副会長 齊本正嘉)

お知らせ

来る7月12日(土) 12時半より名古屋校舎グローバルコンベンションホールにて、「第3回エズラ・ヴォーゲル記念フォーラム」が開催されます。

今回は、エズラ・ヴォーゲル夫人のシャロット教授をはじめご家族の皆さんが来日します。また、ヴォーゲル教授ご一家と親交のあった林芳正内閣官房長官からヴォーゲル先生の知的財産を引き継いだ愛知大学へのメッセージなどの祝辞をいただくことになっております。

Zoomによるライブ中継(日米同時通訳あり)も用意しておりますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

(評議員 齊本正嘉)

